

アグリゲノム産業研究会

第5回例会のお知らせ

アグリゲノム産業研究会は植物ゲノム研究に携わる企業関係者と研究者間の交流を深め、日本のアグリゲノム産業のあるべき姿について議論し、将来的にはコミュニティ内外への意見の発信や行政への提言を行うことを目的として活動しています。第5回例会では、育種データのシステム化をテーマに海外の形質評価解析技術の事例と、関連する国内の研究施策について話題提供をいただき、ビッグデータの時代に即した育種のあるべき姿について議論します。

2017年7月18日（火） 14:00-17:00

会場 TKP東京駅八重洲カンファレンスセンター 4C
〒104-8388 東京都中央区京橋1-7-1 戸田ビルディング 9F

研究会参加費 2,000円 情報交換会 4,000円（当日受付にてお支払いください）

第5回例会 プログラム

14:00-15:45 話題提供

海外の形質評価技術の事例紹介（英語）

- **Bettina Berger, The University of Adelaide, オーストラリア**
- **Kioumars Ghamkhar, AgResearch, ニュージーランド**
- **Kenji Irie, Red fern Solutions Ltd, ニュージーランド**

作物ゲノム育種基盤の開発の現状と種苗開発体制強化に向けた今後の方向性

坂井 寛章 農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究開発官室

16:00-17:00 ディスカッション

ビッグデータの時代における育種のあるべき姿とは？

進行 岩田洋佳（東京大学）

17:30-19:30 情報交換会 会費4,000円

中華・香港居酒屋 龍記 東京・八重洲店

<https://www.hotpepper.jp/strJ001170253/>

お申し込み先

<http://www.kazusa.or.jp/workshop/Agpmeeting170718/>

世話人：岩田洋佳（東京大学）

布目司（農業・食品産業技術総合研究機構）

磯部祥子（かずさDNA研究所）